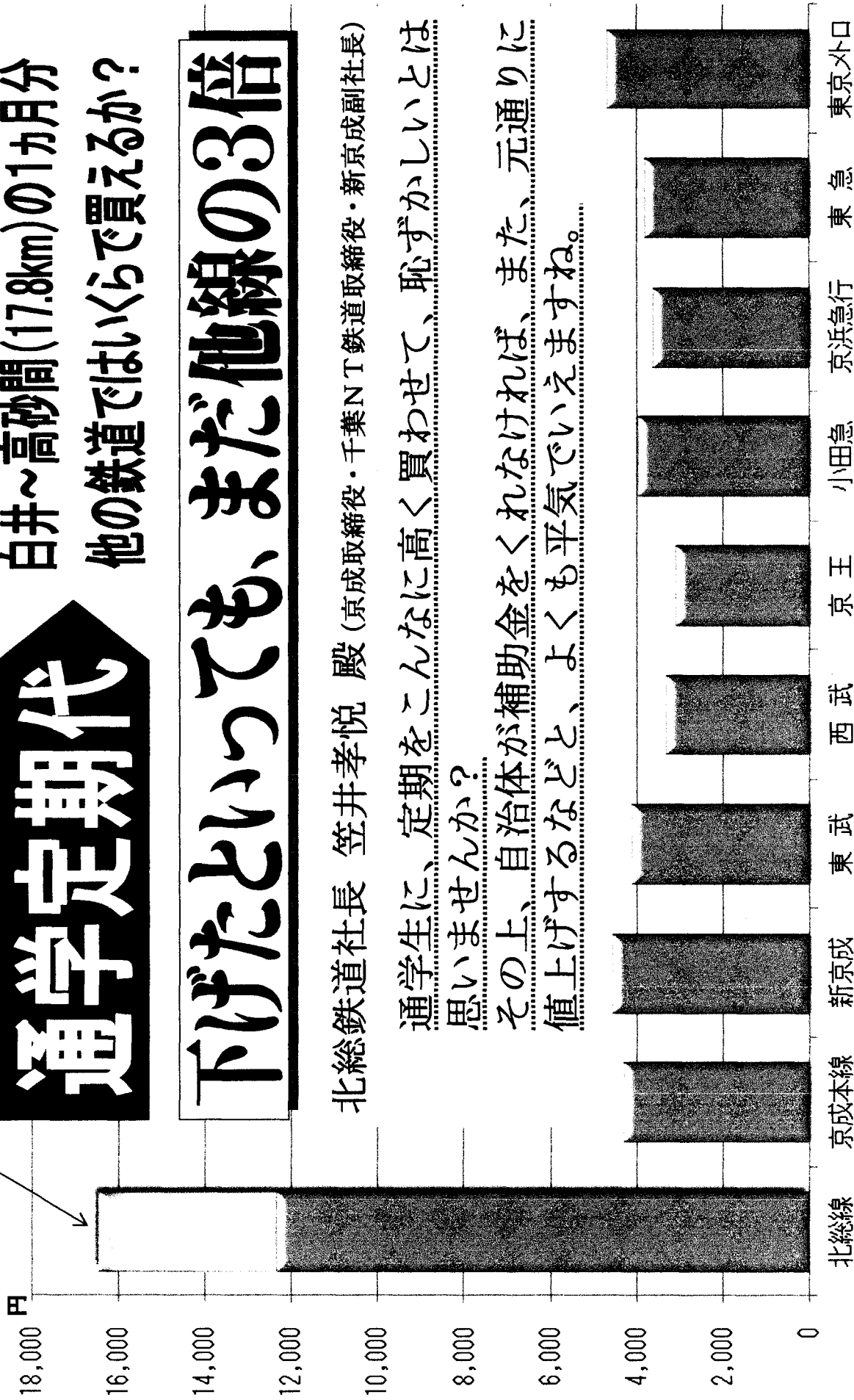


自治体が補助金をくれないと、またここまで値上げすると、北総社長がおどしている額

通学定時代

白井～高砂間(17.8km)の1カ月分 他の鉄道ではいくらで買えるか？



下げたといっても、まだ他線の3倍

北総鉄道社長 笠井孝悦 殿 (京成取締役・千葉NT鉄道取締役・新京成副社長)

通学生に、定期をこんなに高く買わせて、恥ずかしいとは思いませんか？
その上、自治体が補助金をくれなければ、また、元通りに値上げするなどと、よくも平気でいえますね。

北総が年1.5億円出せば、通学定期は25%すぐ下がる

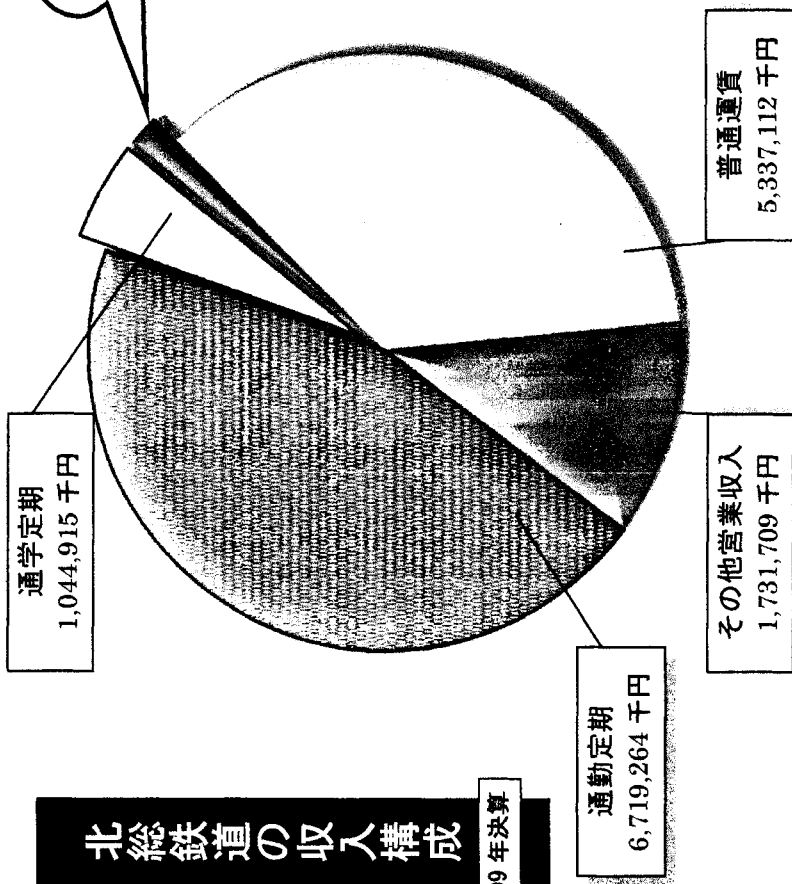
京成電鉄と北総鉄道は、自治体からの補助金がないと通学定期代を25%値下げできない、といいます。自力で出来ないほど、そんなに大きな財源が必要なのでしょうが？

北総鉄道の通学定期収入は、全営業収入の約7%、10億4千万円です。25%値下げということは、この4分の1、約2億6千万円の収入減を受け入れるということ。しかも、法人税等の負担減も考慮すれば、実質1億5千万円負担すればすむことです。

このくらい、なぜ高収益の北総鉄道が自力で負担しようとしなのか

北総鉄道の収入構成

09年決算



たったこれだけの収入減を受け入れれば、北総単独で通学定期25%値下げができるのに！

「通学定期」は自治体にお金を出させるための「人質」？

